

全国的に記録を更新するような酷暑。子どもを抱いていると、火の玉を抱いているようで、顔から汗が溢れ親子で溶けてしまうのではないかと思うほどの暑さです。(経験者しか分からない子育てアルアル)

親と子の広場では、プールを出して水遊びをするものの、さすがに保育室に冷房を入れました。大人と子どもの身長差を考えると、部屋の上の方の温度と下の方の温度は違います。まして、水遊びをした後の子どもと、していない大人の体感温度も違うはず。広場では大きな温度・湿度計を壁につけ何度も確認し、遊んでいる子どもに触れてみながら、室温管理に努めました。

親と子の広場の前期は、7月31日で終了し、長い夏休みに入ります。子どもたちは、親戚のお宅に泊まったり、旅行したり、夏ならではの遊びを経験することでしょう。

後期は、9月28日(金)から始まります。また、元気にお会いしましょう!



かき氷に梅の果肉をトッピングして・・・

<桜の聖母短期大学 保育×食育プロジェクト2018 ④>

6月にみんなで梅を収穫し、梅ジュースを作った梅で、かき氷を作りました。保育室には、いつでも「かき氷やさん」になれるコーナーがあります。Yくん(4歳)は、妹やお母さんの分も作ってくれました。Aちゃん(2歳6か月)は、氷を手で搥んで、かき氷器に自分で入れて、何杯も作りながら、氷が削れて出てくる様子をじっと見ていました。「もう1回」「もう1回」と要求し、そしてうなづきました。「もう納得した」という合図でした。



納得すると、すっと次の行動に移れるのですね。



←プラム

保育×食育プロジェクトでいつもお世話になっている食物栄養専攻の市川優先生。今回も梅ジャム作りを教えてくださいました。そして、梅が苦手な子のために、プラムと桃のソースも作ってくださいました。調理しながら「梅もプラムも桃もバラ科の植物だから・・・」とか、サラッとやっている市川先生。プラムは真っ赤なソース、桃はきれいなピンクのソース、どちらもクエン酸で酸化を防ぐそうです。料理が苦手な私は、どのつぶやきも「へーそうなんだ・・・」と感心するばかりでした。





たくさん遊んだ後のかき氷は、身体と頭を冷やしてくれます。梅は、酸味が強く、大人には人気でした。大人の疲れを取ってくれるようです。私も毎回いただきました。プラムと桃も、ちょっとずつ味見をさせてもらいました。



7月末は、幼稚園も小学校も夏休み！以前、親と子の広場に来てくれていた子どもたちが、大きくなった姿を見せに遊びにきてくれました。

もうすぐ二人目のお子さんが誕生するKさん。「また、広場にデビューしますね！」と。楽しみにお待ちしております。



わらべうた

♪ じー じー ばー

じー じー ばー

じー じー ばー

ちりん ぽろんと とんでった



すずめを真似たうたです。

子どもは、大人の表情や口の動きをじっと見つめながら、耳を傾けます。

とても短いフレーズなので、子どももすぐに覚えて大人の真似をするようになります。

特に「ばー」は発音しやすい音なので、小さな子もよろこんで口にすることができます。

すずめが鳴いている様子をイメージし、高い声で唱えてみましょう。

最後に「ちりんぽろんと、とんでった」と唱え、スカーフを飛ばして、すずめが大空にとびたつ場面を加えることができます。

0・1・2歳のふれあいうた あそびうた やさしさを育む88の関わり より

一人で水遊び。そして、友だちと水遊び



親と子の広場のテラスには、ビニールプールの他、小さなタライがたくさん並びます。一人一人の水との対話を大切にしたいという思いからです。「水」の感触、性質、そして、共感してくれる人の存在が経験を体験に変え、豊かな学びとして一人一人の心と身体に浸み込みます。子どもたちの表情と共に、暑い中、愛情いっぱいに向き合っている大人たちにも注目してください。お母さんも、おばあちゃんも、キラキラ輝いている素敵な大人の皆さんですね。



次第に、友だちがしていることに興味を持ち始め、「一緒に」を味わいたくなる時期には、大きなプールに集まってきます。金魚やカメをすくって集めたり、ジョウロで水をかけたり、様々な楽しみ方をする中で、「一緒だから面白い」体験と「一緒だと困る」だから「考える」体験をしていきます。





学生は、子どもの発達に合わせて、遊びのきっかけを作ったり、子どもが感じていることに共感したりしてみます。

そして、「子どもってすごい！」と心から感じ、どんなに小さくても考えがあり、一人の人格として、大切に接することの大切さを学んでいきます。保育士としてスタートするときが一番大切なことです。

幼稚園の年少組のSちゃんは、久しぶりに広場に遊びに来てくれました。幼稚園では一番小さいクラスですが、広場来ると一番大きいお姉さん。まだ流暢に自分の気持ちを言葉にして話せない小さい子にも「これ、〇〇していい?」「だめ?」などと、気持ちを確認しながらやりとりしています。

広場にきている小さな子どもたちにとって、年上の子と遊ぶ機会は、「言葉で気持ちを聞いてもらった」という良い経験になりますね。気持ちを聞いてもらえる経験が、今度は自分が相手の気持ちを聞いてあげる行動にいつかつながるのでしょうか。



桜の聖母短期大学図書館×親と子のひろば「おはなし会」

夏休み明けの初日（9月28日）は、いつもの通り10:00から広場はオープンしますが、10:30になったら、みんなで短大の図書館に行きますよ。子どもたちは、図書館に行ったことがありますか？

本がたくさんあって、本を読んでいる人もいるあの雰囲気を感じましょう。絵本が大好きな子、本が大好きな大人にとっては宝箱のような場所。子どもたちには、本が好きな大人になって欲しいという願いを持っています。当日は「おはなし会」も企画されています。プログラムは当日のお楽しみ！

短大図書館は、地域の皆様にも開放されています。ご希望の方は、貸し出しカードを作って利用することができます。当日、図書館職員より利用についての説明がありますので、よろしければご活用ください。

子どもの絵本は勿論、大人の読書も再開してはいかがでしょうか。

おはなし会：10:40~11:00頃

その後、保育室に戻り、11:30にさようならをします。



NHK けさのクローズアップ “佐々木正美さんからのメッセージ”

6月28日帰宅後、母が「今朝のNHKに出ていた先生のお話、とても良かったわよ」と教えてくれました。私は、7時に出勤するので7時過ぎの“けさのクローズアップ”は観ることができないのですが、NHKのHPで観ることが出来ました。「誰の話だろう・・・」と気になっていると、「去年（2017年）6月28日に、数多くの育児書を書いたことで知られる、児童精神科医の佐々木正美さんが81歳で亡くなりました」と。私は大好きな先生が亡くなられていたというショックと、佐々木正美先生のお話を特集して全国に流してくれた喜びとを同時に感じていました。

NHKは、この特集の中で、佐々木正美先生の言葉を紹介していましたので引用して掲載します。

「失敗しても同じことを繰り返す」これは、幼児期の子どもの大きな長所です。

『子どもの心の育てかた』佐々木正美著

「親が望む子ども」に育てるのではなく、「子どもが望んでいる親」になるという気持ち。

『はじめは愛着から』佐々木正美著

手のかからない子がいい子だなんてそんなのは大きなまちがいですよ。

小さいころに手をかけさせてくれる子が本当はとていい子なんです。

『育てにくい子』と感じたときに読む本』佐々木正美著

「いい子」とは大人にとって「都合のいい子」のことです。

いい子だからかわいがるのではなく、かわいがるから本当のいい子になるのです。

最後にアナウンサーの高瀬さんが、「佐々木さんはノウハウではなく、心の持ちようを説いていて、それが多くの人に響く、届く、理由なのかなと思いました」と感想を述べていました。

私は、もう一度、丁寧に、佐々木先生の本を読みたいと思いました。



野外保育②は、電話でお問い合わせください

別紙でご案内しております野外保育は、今年度も「親と子の広場」と土曜日の「さくらっこ広場」の共催で、夏と秋の2回あります。秋は小さいお子さん対象に、近場で牧場の見学と自然の中を散歩する計画です（野外保育②）。野外保育②は、参加申込みが定員に達しましたので、一旦、申込み受付は締め切りました。しかし、キャンセルなどにも対応しておりますので、空きが出る可能性もあります。

夏休み中のキャンセルや空き状況のお問い合わせは、お電話でお願いします。



10月12日の野外保育②には、福祉こども専攻の1・2年生も15名参加します。将来、保育者になったときには、遠足の計画も引率もします。そこで、今回は、野外保育の下見から一緒に経験し「留意すること」「子どもに経験して欲しいこと」などを考え、計画立案から共に行います。当日は、見通しを持って援助を行い、そして何より、当日の子どもたちと行動を共にすることで、多くのことを学んでくれることでしょう。



ささき牧場 HP より

「牛さん、会いに行くから待ってね～」

文責 奥田美由紀

今後の予定

7月 27日(金)	9月28日(金)「おはなし会」
31日(火)	10月2日(火)
	5日(金)
	9日(火)
8~9月中旬は、	12日(金) 野外保育
夏休み です	※申込み必要
	16日(火) 休み
	19日(金) 休み
	23日(火)
	26日(金)
	30日(火)



桜の聖母短期大学

🏠 福島市花園町 3-6

☎ 024-534-7137

(代表)

